

令和7年度 幟町地区まちづくり委員会 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

- ・各事業の参加者・担い手を増やし、活性化を図ることができた。
- ・自主防災連合会をバックアップし、防災に関する取り組みを行い、防災意識向上を図った。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	幟町地区慰霊祭	(6)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年6月17日 ～ 令和7年6月17日	
(2) 実施場所	幟町小学校体育館	
(3) 参加者数	約500人	
(4) 主催団体	団体名 幟町地区まちづくり委員会、幟町地区連合町内会 幟町地区社会福祉協議会	
4 取組内容	今年度は、被爆80周年の年でもあるため、従来と異なり、幟町小学校体育館内で被爆ピアノを迎え、地域の代表者と幟小全校生徒で慰霊祭を行った（地域起こし推進課・幟町小学校・エリザベト音楽大学連携）。 体育館内で、当時幟町小学校があった幟町公園の慰霊碑をプロジェクターで映して行った。被爆で亡くなった方々へ黙とうをし、被爆体験の話を聞いた。 そして、この取り組みを持続的なものとするため、毎月慰霊碑に花束をお供えした。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	戦争を知らない世代が多い中、幟町地区の被爆状況や被爆体験を次世代へ継承するため。幟町地区出身ではない方にも、慰霊碑に関心を持っていただき、当地区の歴史に触れていただく。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	慰霊祭において、当時、幟町小学校の児童だった被爆者から自分が住む街や人の被爆状況を聞くことで、戦争の悲惨さを間近に感じ、何もない日常がいかに大切か、平和とは何かを感じていた。 戦争の経験のない子どもたちに平和の大切さを認識してもらい、平和への思いを地域（同席した保護者を含む）とともに共有することができた。 ユネスコスクールに認定されている幟町小学校の児童を、平和の大切さを積極的に世界へ発信できる大人に育てくれるきっかけを作ることができた。 特に今年度は、地域起こし推進課と連携し、被爆ピアノの演奏会を行うことで全校生徒を対象としたため、効果は大きいものになった（エリザベト音楽大学とも連携し、演奏者を募った）。 慰霊碑建立に尽力された方々（被爆当時の教員）の思いに触れ、当地区の住民が共有し、結束を高めることができた。 毎月慰霊碑に新しいお花が添えられることで、上記効果が持続的なものとなると期待している。 幟町慰霊祭の様子と内容は、幟町小学校PTA広報部と連携し、PTAの保護者にもWEB新聞という形で発信した。 被爆ピアノの演奏会の様子は、後日パネル展示が行われた。	

1 事業名	幟町地区敬老会	(6)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年9月15日 ～ 令和7年9月15日	
(2) 実施場所	幟町小学校体育館	
(3) 参加者数	約250 人	
(4) 主催団体	団体名 幟町地区まちづくり委員会、幟町地区連合町内会 幟町地区社会福祉協議会	
4 取組内容	地域の長寿者（75歳以上）をお招きし、長寿者の表彰やお弁当を振る舞うことにより、お祝いをした。 子どもたちによる発表（児童館と連携）を行い、世代間交流を図る。 元気アップサロンなどの行事の紹介を行い、社会福祉協議会や老人クラブなどが主催するイベントの周知を図った。 参加者の状態を観察し、認知機能の確認を行い、気になるところは包括支援センターなど関係各所と連携して、解決にあたった。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	長年、幟町地区を支えて下さった高齢者を敬い、さらなる長寿を願うため。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	長寿者が多いことは、その地域の生活環境が良いことを意味し、地域の知名度も上がる。 そして、長寿者から豊富な知識を今の世代が受け継ぐことで、地域の歴史なども受け継がれ、世代間の交流が図られるとともに、地域の安定化に繋がる。 敬老会への参加によって高齢者の社会参加を促すとともに、会の中で地域の集いの場であるサロンの広報等を行い、日ごろから繋がりを持てるようにし、孤立化を防ぐことができた（今回も、事前周知を広く行ったため、今まで参加していない方も参加された）。 役員や福祉委員が個別にお声がけをし、一人一人の現状を把握することができた。 特に参加者の認知機能の衰えを把握することができ、高齢者見守りの「楽々ネット」の活動に繋げることができたことは大きな成果だった（包括支援センター連携）。 P T Aと子ども会の会長が交代したこともあり、敬老会運営を継承していくための人材育成も新たに行うことができた。	

1 事業名	豚汁ハイキング	(6)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年10月19日 ～ 令和7年10月19日	
(2) 実施場所	広島県立中央森林公園	
(3) 参加者数	約30 人	
(4) 主催団体	団体名 幟町学区体育協会	
4 取組内容		
幟町地区の三世代でハイキングをした後、豚汁を一緒に食べながら話をしたり、モルックなどの競技を行った。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 住民同士のふれあいの場が少なくなっているため、スポーツを通じて、世代間を含む交流の機会を創出する。 また、運動能力が落ちている子どもたちや運動する機会が少なくなっている保護者・高齢者にも運動の機会を創出する。特に高齢者には、外出する機会を提供し、人と触れ合ってもらい、孤立化を防ぐ。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 普段交流の少ない住民が世代を超えて交流することで、結束力を生み、犯罪・災害発生時に向け、助け合いの心を育むことができた。 ハイキングという適度な運動をする中で、世代間で会話をし、お互いの状況を知ること、繋がりづくりや住民の課題の解決に結びつけるきっかけとなった。 モルックやペタンクといったニュースポーツへの関心が高まった。 今年はインフルエンザ流行時期や他の行事と重なったため参加者が少なかったが、リピーターも多いため、参加者が増えれば、継続できる事業であると感じた。		

1 事業名	幟町地区とんど祭り	(6)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年1月11日 ~ 令和8年1月11日	
(2) 実施場所	幟町小学校グラウンド	
(3) 参加者数	約800 人	
(4) 主催団体	団体名 幟町地区まちづくり委員会、幟町地区連合町内会 幟町地区社会福祉協議会、幟町学区子ども会育成協議会（主管）	
4 取組内容	門松・しめ縄・破魔矢などのお正月飾りや書初めを持ち寄ってお焚き上げし、お餅やぜんざいを振る舞い、その年の無病息災や五穀豊穰を祈願した。 文教地区でもある幟町地区内にある学校に声をかけ、その学生とともに運営を行い、世代間交流を図った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	地域・地域住民の無病息災や五穀豊穰を祈願した。 多くの住民が同じ目的の下に集まり、交流を深めながら、お互いに寄り添う気持ちを養った。昨今、とんどという伝統行事が中止になる地域が増えてきた。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	地域住民の健康を案じ、互いの健康に目を向けるとともに、お互いに寄り添う気持ちを養い、世代間の交流を図ることができた。 次世代へ伝統行事の継承を行う。高齢者の社会参加を促し、孤立化を防ぐきっかけとなった。 大雪が降った中でも安全を大前提に開催に結びつけることができるノウハウも得ることができた。 周辺住民にチラシを配布したことで、大雪の中でも参加者が比較的多かった。 開催当日、消防団による注意喚起の巡回アナウンスをすることで、周辺住民の理解を求めるとともに、参加も促すことができた。	

1 事業名	情報発信強化事業	(6)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	幟町地区まちづくり委員会事務局	
(3) 参加者数	10,000 人	
(4) 主催団体	団体名 幟町地区まちづくり委員会、幟町地区連合町内会 幟町地区社会福祉協議会	
4 取組内容		
こむネットなどを活用し、地域行事の情報発信を行うとともに、後世に活動記録を残した。映像などを記録し、各行事で所属団体が主催するイベントの周知を行った。 インスタグラムを活用し、リアルタイムで情報発信を行った。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 地域でどのような活動が行われているのか、いつ行われるのか、回覧板等では周知しきれない現状がある。また、適切な時期に回覧板が回りきらない現状がある。 これまでの活動記録が残せていない現状があり、行事再開の足枷にもなっている。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 映像を使って各行事のイベントの広報等を強化することにより、地域住民に地域活動に興味を持っていただき、団体や活動への参加者を増やすことができた。 活動記録を残すことにより、改善点などを見出すきっかけを作ることができた。 リアルタイムで確実に情報を受け取る仕組みを作り、広報漏れを防ぐとともに、負担軽減も図ることができた。		

1 事業名	楽々サロン ダーツ教室	(6)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	幟町集会所	
(3) 参加者数	360 人 (延べ)	
(4) 主催団体	団体名 幟町地区まちづくり委員会、幟町地区老人クラブ	
4 取組内容	ダーツの講師を招いてダーツ教室を開き、運動による健康増進を図るとともに、大学等と連携し、運動能力向上や認知症予防の効果を検証した。 老人クラブの会員だけではなく、地域の高齢者が誰でも参加できるよう、活動の周知を行い、新規参加者も増えた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	新型コロナウイルスの影響により、高齢者の社会参加の機会が失われ、高齢者の孤立化が進んでいると思われる。近年、老人クラブ主催の楽々サロンの参加者が減少している。	
(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	ダーツ教室を開催することで、高齢者の社会参加の機会を創出し、運動がもたらす効果について実感していただくことで、口コミにより参加者が増えた。 敬老会などの他の行事で広報を行ったことにより、参加者が増えた。 老人クラブの活動に関心を持ってもらう機会となり、会員獲得につながることに期待している。 児童館でもダーツ教室を行い、子どもたちに楽しんでもらった。	

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容
令和7年 7月26日	防災意識向上	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	子ども会主催の夏祭りにて、自主防災連合会のブースを設け、防災グッズや非常食の紹介を行った。
令和7年 11月16日	消火器体験	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	PTA 主催のバザーに自主防災連合会のブースを設け、子どもたちに消火器・LED 体験をしてもらった。
令和7年度	通学路の安全確保とあいさつ運動	(10) 地域の交通安全に資する活動	PTA と連携し、通学路の安全確保とあいさつ運動を行った。